

平成十年度 第一回 収藏文書展

文書にみる文明開化



埼玉県立文書館

開催にあたって

埼玉県立文書館が収蔵する埼玉の歴史と文化を伝える行政文書・古文書・地図等の資料は、総数62万点を数えます。これらは、郷土埼玉の姿を伝える貴重な文化遺産といえます。当館ではその保存に努める一方、利用者の皆様が閲覧できる態勢を整え、幅広く公開・活用の途を開いています。

今回テーマとして取り上げた「文明開化」は、明治政府が「富国強兵」「殖産興業」と並んで推進した、文化面での近代化です。移入された西欧の文化や技術は、人々の生活に大きな変化をもたらし、その影響は埼玉にも及ぼしました。今回の展示では、県内の開化の様子を、暮らし、交通・通信、小学校に焦点をあてて紹介するとともに、旧家に保存されていた「開化錦絵」から、文明開化の中心地である東京の風俗もパネルで再現いたしました。ガス灯がともり、陸蒸気が走った百年以上前の変革の時代、「文明開化」の雰囲気を、展示資料から感じとっていただければ幸いです。

最後に、本収蔵展を開催するにあたり、貴重な文書を提供してくださいました寄贈・寄託者の方々に深く感謝申し上げます。

平成11年2月

埼玉県立文書館長

凡例

1. 本書は、平成10年度第2回収蔵文書展「文書にみる文明開化」(平成11年2月2日～3月28日)の展示図録です。
2. 番号に□が付いている資料は、図版が掲載してあります。
3. 会期中展示替のため、期間により展示されていない場合があります。
4. 展示終了後、当館収蔵の資料は2階閲覧室で閲覧できます。

展示に御協力いただいた個人及び機関（敬称略）

浅見秀夫／飯島広次／小林茂郎／小室開弘／篠崎克／鈴木庸夫／中川勝雄／西角井正文／土生津皓／林信行／藤城孟男／武笠寛／諸井興治／山崎忠男／川越市立川越小学校／埼玉県立浦和図書館／鳩山町立亀井小学校／横浜開港資料館 町田真之亮

条約改正と文明開化

黒船来航により開国を迫られ、徳川幕府が各国と結んだ不平等条約を改正することは、明治期を通じての国民的課題でした。文明開化を急いだ理由のひとつも、そこにありました。条約改正は、明治32年に漸く実現しました。

〈ペリー来航〉

- 1 ペリー日本遠征を伝える絵入りロンドンニュース(複製)
1853年5月7日号 嘉永6 横浜開港資料館蔵
- 2 黒船来航之節沿岸防備絵図 嘉永6 稲生764
- 3 ペリー提督将兵の上陸図(複製) 嘉永7
横浜開港資料館蔵

〈不平等条約〉

- 4 安政五ヶ国条約並税則他 安政5 小室2254～2758
領事裁判権が規定され関税自主権がありませんでした。
〈岩倉使節団〉
- 5 特命全権大使米欧回覧実記 明治11 岩波文庫
平成9 図書A319-ト
明治初頭の米欧外遊は、近代化の選択肢となりました。
- 6 対等条約の実施 明治32 北沢楽天『楽天全集5』
アトリエ社 昭和5 図書A726-ラ
条約改正の喜びと内地離居の不安を風刺しています。



4



6

開化情報の発信

東京の開化風景は、錦絵でいち早く報道されました。新聞や雑誌、翻訳書も続々と刊行され、郵送により地方でも購読されるようになります。国や県の布告や諭達は、活版印刷され、掲示・回覧により人々に伝えられました。

〈開化錦絵〉

- 7 東京名勝銀座之通煉化石商家之図 三代広重 明治6
小室6373-16

英人ウォートルスが設計した煉瓦街です。

〈新聞〉

- 8 東京絵入新聞 第1210号 明治12 西角井9945
代表的な大衆紙。新聞社の多くは銀座にありました。

〈雑誌〉

- 9 団団珍聞 第1・82号 明治10 林7134・小室4532-2
日本初の本格的な滑稽風刺雑誌です。

〈翻訳書〉

- 10 西国立志編 第2冊 明治3 西角井9590
スマイルスの「自助論」の訳本で、古今東西の数百名の立志を述べ、青年層に大きな影響を与えました。

- 11 九十七時二十分間月世界旅行 ベルヌ 明治13
中川3175・3389

〈布告・諭達〉

- 12 太政官日誌 慶應4・明治元 林7326・7237
布告を収録する政府機関誌。後に官報となりました。
- 13 製糸告諭書 明治5 明52
製糸場の外人が生血を取る噂を、告諭で否定しました。
- 14 布告書活字摺立ノ件文部省へ伺指令 明治5 明157-3
- 15 管内布達取扱並費用之制 明治5 明101
各戸長は布告を掲示回覧し人々に周知させました。



8

9

太政官日誌 第一

慶應四年戊辰二月

方遊佛祖西國より生糸製造肺と胃女職業
名々雇ひ入る事多うと頗好む生糸製造
と立地の外國中製絲廠ある者主張を
説き熟覺と許すと生糸製絲廠に替て職人皆
人絞り職へ立成製絲往々多せくさか在在
外國人生血を取る事あらと唱へんが故に
作者も著之り以れのと云ふ者女職人製絲の
術傳習によへ即國内製絲廠教師の教習事
業はもとより其を參観會議等も盛んに開
催せらるる事無く其の如き事は

12

13



7

暮らしの洋風化 I

断髪や太陽暦をはじめ、公衆道德や衛生防疫の布告が出され、人々の生活は、次第に洋風化していきました。

暮らしの変化を項目ごとに見てみましょう。

〈洋風建築〉

- 16 東京海運橋兜町為替座五階造之図** 国輝 明治5
小室6370-14
三井組から国に譲られ、第一国立銀行となりました。
- 〈ランプ〉
- 17 石油取扱の注意方布告** 明治5 明3680-100
ランプの普及に伴い引火事故が多く、注意が出されました。
- 18 開化問答 2編上** 明治8 町田89 河鍋曉斎画
断髪した開次郎と、旧来の慣習を主張する旧平老が開化を論じています。障子の後ろにランプが見えます。

〈椅子・テーブル〉

- 19 県庁備品明細表** 明治7 明1606-6
県庁では、椅子・テーブル・ランプ・ガス灯・時計などが購入されていました。

〈ガス灯〉

- 20 ガス燈興築の諭告** 明治5 明3680-194
本県にガスが引かれたのは大正2年で、それまでは石油の街灯をガス灯といっていました。
- 21 岩槻警察署略図** 明治18 明361-16
門にしゃれた門灯を付けるのが流行りました。
- 22 大越村利根川浮橋略図** 明治19 明1751-2
岸と橋に街灯が建っています。

〈洋服〉

- 23 陸軍徽章** 明治4・5 明23・60
軍服には洋服が採用されました。
- 24 獲章賞牌図** 明治8 鈴木(庸)10540
西欧に倣って、勲章制度が設けられました。
- 25 開花天覽図** 周延 明治11 小室6363-11
天皇は公式の服装は、西洋の元首にあわせ軍服となりました。皇后は明治19年まで和装でした。

- 26 団扇絵見本 (帽子・傘屋)**埼玉県立浦和図書館蔵
蝙蝠笠やステッキ、帽子の流行は、刀とまげの代わりだったともいわれています。→裏表紙
- 27 都の華 第1-73号** 明治25~34 図書A070-ミ
一般の女性は明治を通じて和服を着るのが普通でした。
女学生の制服は海老茶の袴です。→表紙

〈断髪〉

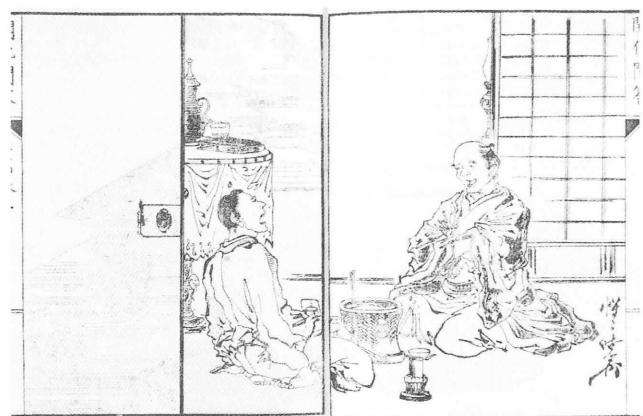
- 28 散髪脱刀の自由** 明治4 明29
- 29 断髪奨励ニ付埼玉県布達** 明治6 埼玉資料室23
断髪推進のため、埼玉県が出した布告です。
- 30 婦人断髪禁止ニ付埼玉県布達** 明治7 明146
婦人の謂れない断髪は禁止されていました。



16

石川縣油等ノ混合既不燃油・火災ヲ嫌成	
既不燃油等ノ火災ヲ嫌成	
油等ノ火災ヲ嫌成	既不燃油等ノ火災ヲ嫌成
既不燃油等ノ火災ヲ嫌成	既不燃油等ノ火災ヲ嫌成
既不燃油等ノ火災ヲ嫌成	既不燃油等ノ火災ヲ嫌成

17



18

類別	小内閣				大内閣				外洋			
	小内閣	内閣	大内閣	外洋	小内閣	内閣	大内閣	外洋	小内閣	内閣	大内閣	外洋
主文類	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四
次文類	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四
支文類	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四
付文類	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四
小内閣	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四
内閣	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四
大内閣	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四
外洋	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四

19



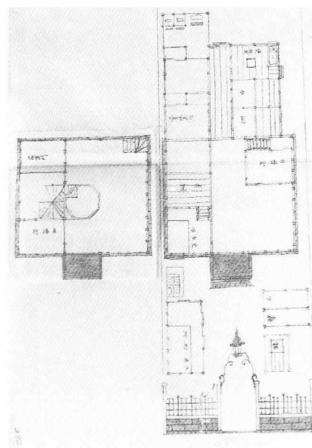
27



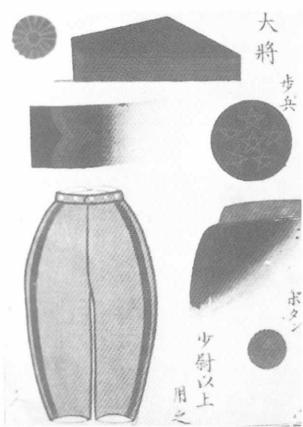
29



20



21



23



25

暮らしの洋風化 II

〈公衆道德〉

- 31 混浴・裸体公行禁止の諭説 明治5 鈴木(庸)6439

混浴や、裸体で働く旧来の慣習が禁止されました。

- 32 違式註違条例 明治9 林7264

現在の軽犯罪法にあたります。

- 33 開化問答 2編上 明治8 町田89 河鍋暁斎画

違反者はポリス(警官)に取り締まられました。

〈娼妓問題〉

- 34 娼妓解放令 明治5 明44-252

マリヤ・ルーズ号事件を契機に娼妓解放令が出ますが、貸座敷渡世と名を替え、実態は変わりませんでした。

- 35 娼妓並貸座敷渡世規則 明治8 飯島272

- 36 全盛郭賑ひ 周延 明治16 小室6373-13

〈防疫〉

- 37 種痘之儀ニ付諭達 明治9 明226

- 38 未痘児調査簿 明治8 武笠(寛)1559

- 39 種痘済証 明治8 武笠(寛)1966

- 40 扁列刺病予防法消毒法及予防掛取極議定 明治12

鈴木(庸)7957

- 41 中尾村避病院設置反対騒動 明治12 明198

避病院で生肝を取り来日中のグラント将軍へ献上するという噂から、避病院設置反対騒動が起きました。

〈太陽暦〉

- 42 曆法布達 明治5 明39

明治5年12月3日が明治6年1月1日となりました。

- 43 改曆弁 福沢諭吉 明治6 浅見1833

ベストセラーになった改暦の解説書です。

- 44 勸農新暦 上下 島村橋 明治6 根岸(浩)827

- 45 西洋時計便覧 西角井9335

- 46 日記 一 小室元長 明治6 小室424

- 47 五節句の廃止 明治6 明69

〈牛肉・牛乳〉

- 48 僧侶肉食妻帯蓄髪の布告 明治5 明43

- 49 牛肉店広告 小室4771-2

- 50 牛肉代受取証 小室4771-1

- 51 病氣養生牛肉ニ付書状 諸井(興)433

明治初期、牛肉は薬や滋養のために食されました。

- 52 埼玉県乳営業組合員 明治29 明3586-2

- 53 牛乳代受取証 明治30 小林(茂)3839-1

牛乳が広く飲用されるのは、明治30年代以降です。

- 54 団扇絵見本(牛乳車) 埼玉県立浦和図書館蔵

〈開化風俗錦絵〉

- 55 東京滑稽名所柳橋追羽子の顎 三代広重 小室6371-8

- 56 // 蕎麦の転覆 // 小室6371-17

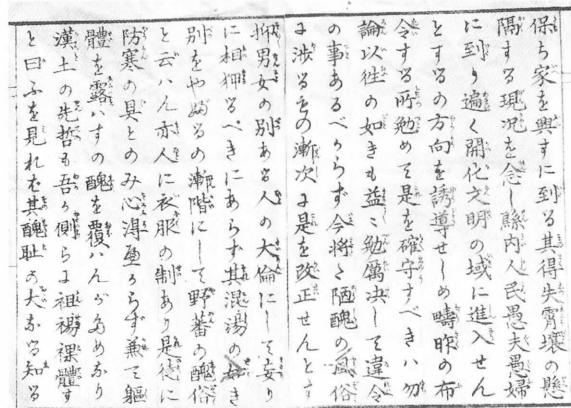
- 57 // 浅草寺茶見世の転覆 // 小室6371-5

- 58 //両国広小路鳶の戸まだひ // 小室6371-7

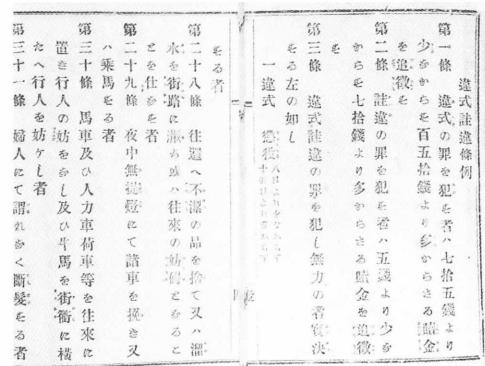
- 59 // 上野公園支那人の戯むれ // 小室6371-22

- 60 武藏百景之内 鉄砲洲高橋佃島遠景 小林清親

小室6321-22



31



32



33



34

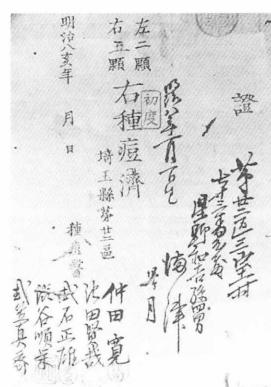
明治十二年九月九日

麻疹病豫防法消毒及豫防掛取種定

山口郡官前村
戸長役場

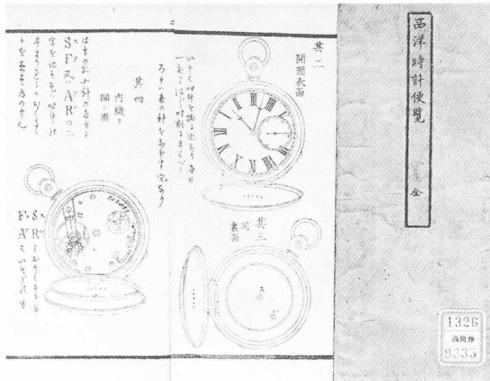
40

39



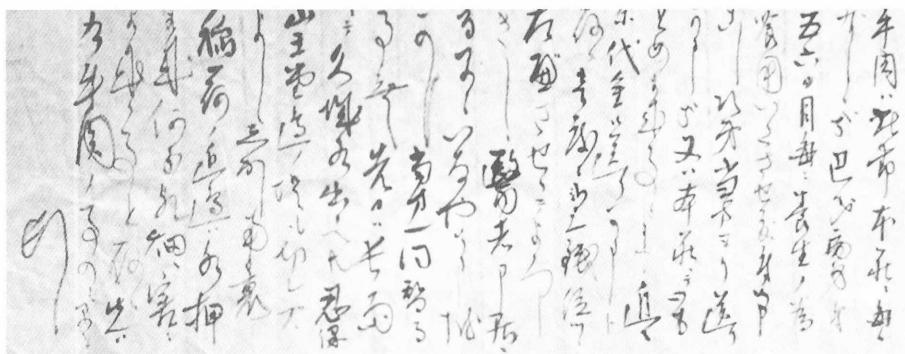
37

45

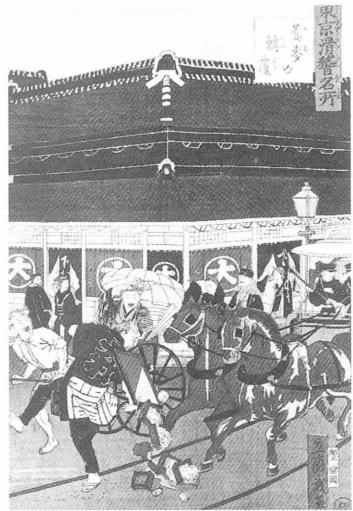


43

51



55



56



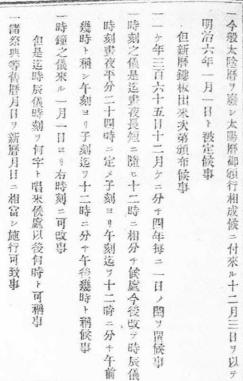
57



明治九年七月十日

埼玉縣令白根多助

3



明治九年七月十日 埼玉縣令白根多助

42



明治六年一月一日 改曆辨

43

交通・通信の開化

陸羽街道沿いに連なる電信線。利根川を航行する蒸気船。黒煙をあげて走る陸蒸気。西欧の交通・通信の最新技術は、県民に驚きをもって迎えられたことでしょう。

〈郵便〉

- 61 郵便取扱地名表 明治6 埼玉資料室23
- 62 日本帝国郵便規則 明治7 小室3975
- 63 熊谷県郵便線一覧表 明治7 飯島(徳)756
- 64 郵便通送保護ニ付短銃携帯ノ件 明治8 明1503-15
現金輸送の郵便馬車は、護身用ピストルを備えました。
- 65 郵便局明細表 明治9 明1716-18
- 66 郵便脚夫・集配人被服雛形 明治15 明1510-1
- 67 女用消息文(郵便支局の図) 明治21 中川3019
明治中期の郵便局です。局灯が設置されています。

〈電信〉

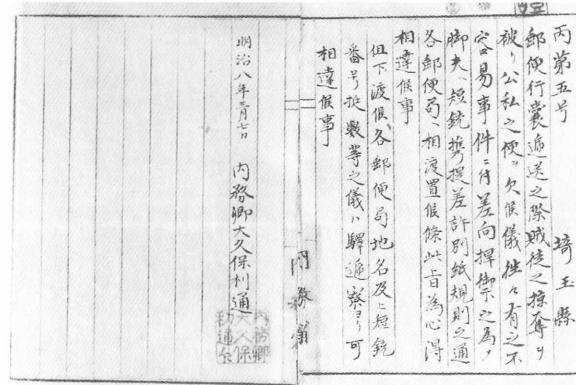
- 68 東京より青森港迄電信寮御取建ニ付小前請印帳 明治6 藤城172
電信=テレグラフはなかなか理解されず、流言から電柱が倒されたりしたため、請印をとっています。
- 69 大日本政府電信取扱規則 明治7 土生津800
各地の騒乱防止のため政府は電信設置を急ぎました。
- 70 陸羽街道の電信線『東京日光散策』 明治9 図書A210.5-シ
- 71 電信分局設置之義ニ付上申指令 明治13 明1508-5
蚕業が盛んな本庄では分局設置を希望しました。

〈人力車〉

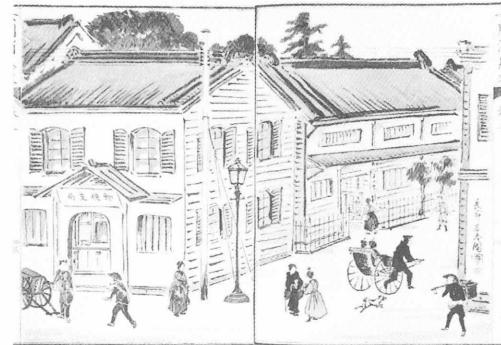
- 72 府県名所図会埼玉県一之宮氷川 三代広重 林10331
- 73 人馬通行物貨交通概計表 明治16 明1511-8
(蒸気船)
- 74 東京両国通運会社川蒸氣往復盛栄真景図 野沢重清 明治10 小室6273-15
「丸に一の字」の郵便船の旗が掲げられています。

- 75 西宝珠花村へ蒸気船繫場設置願 明治13 明1711-18
(鉄道)

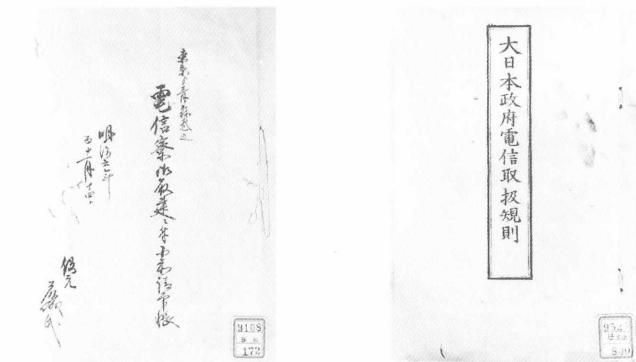
- 76 東京横浜名所一覧図会高輪蒸氣車鐵道 三代広重 明治5 小室6373-21
浜松町から品川間は、海上に築いた堤上を走りました。
- 77 鉄道略則 明治5 明39
- 78 鉄道寮雇外国人ボイル通行達 明治9 明225
- 79 鉄道用地買収ニ付工部省達 明治15 明1729-3
- 80 公益書類綴込 明治16 林7657
県勅業課長の日本鉄道の起工式での試乗報告です。
- 81 武州川口鉄橋図 秩父八王子遠景 井上安治
埼玉県立博物館蔵
- 〈馬車鉄道〉
- 82 入間馬車鉄道株式会社発起認可申請書 明治32 明3594-26
- 83 入間川をわたる馬車鉄道 山崎忠男氏蔵



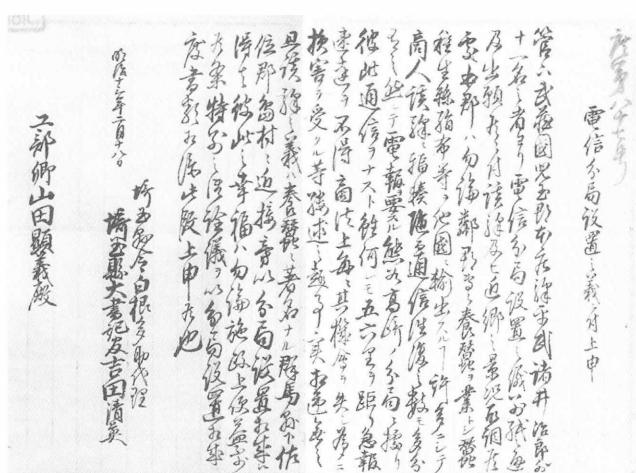
64



67



68



71

人馬通行物貨交通概計表	
中山道往來車馬	
運行人	一月
交車夫	六十五
人馬車	五百四〇〇
公家客	一千二
馬車	三五
合乘客	一五〇
計	四〇四四
計	
人車牛馬運貨	一月
荷車客	三〇
人馬車	六〇〇
合乘客	一九二
馬車	三五
人乘客	一八四
計	四〇四四

73

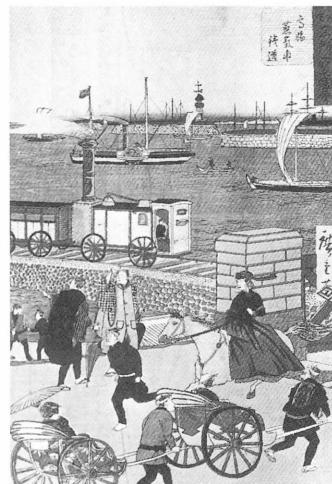
萬志赤松八口
當郡内内高駒郡西宮寺地先江戸川流域（便宜）
為蒸氣船堅場相設置原乘船及上陸等便
復致庭言全村主民榮田七歲三別居之通願
之集分地乞勿論該川通該津者無取私利
要即研告山縣之久間敷起以詮議相成度
改書繪圖共相添狀段見由來也

明治三十一年正月
埼玉縣令白井重時設

明治三十一年正月

山縣高駒郡長門

75



76

入間馬車鐵道株式會社設立認可申請書
今般私共商法之規定ヲ遵奉シ人間馬車鐵道會
社ヲ發起ニ埼玉縣人間郡入間川町ヨリ同郡飯
能町ニ至ル間ニ馬車鐵道ヲ布設シ運輸事業
相営度候付特別ノ御詮議ノ以テ至急御認
可被成下度別紙起業目論見書發起人引受株
數假定款并布設特許証廢木相添此段申
請仕候也

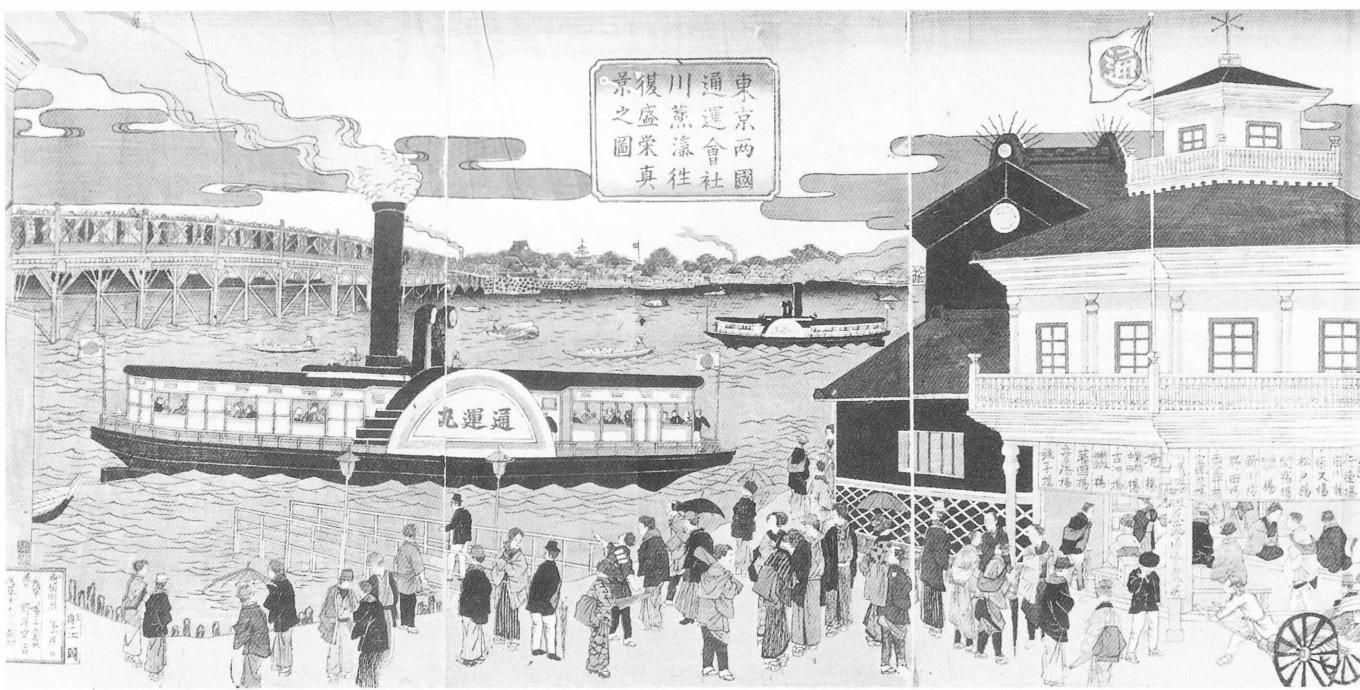
明治三十一年三月九日

人間馬車鐵道株式會社發起人

82



80



74

小学校教育の始まり

明治5年に発布された学制により小学校が設けられますが、就学率は低く、国民皆学には至りませんでした。明治7年には、教員養成のため師範学校が設置されました。

小学校の新築が進み、就学率が次第にあがっていくのは、明治20年代以降のことです。

〈小学校〉

84 学制 明治5 明61の1

「村に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」と発布され、寺などを利用して小学校が設けられました。

85 満五才二月より同十三才迄之者取調 明治7

鈴木(庸)2053

経費がかかり、子供も労働力であったことなどから就学率は低く、特に女子は、ほとんどが子守りのため未就学でした。

86 小学教則 明治9 明1843-106

読み書き・算術を中心の時間割でした。6ヶ月ごとに試験で進級し、飛級も行われました。

87 川越小学校絵図 明治12 川越市立川越小学校蔵

財力のある地域は、寄付により校舎を新築しました。

88 亀井小学校絵図 明治20年代 鳩山町立亀井小学校蔵

明治20年代の登校風景で女子も通っています。

〈師範学校〉

89 師範学校開学ニ付文部省へ伺指令 明治7 明1843-55

教員養成機関として設けられたは改正局は、明治7年に師範学校となりました。

90 師範学校挿画 『埼玉県地誌略』 明治10 小室4090

岸村(現浦和市)に建てられた最初の師範学校図。書籍館(図書館)が併設されていました。

91 師範学校新築関係書類 明治11 明1700-30

92 凤翔閣写真 『埼玉県写真帖』 図書290.3-サ

明治11年に新築された師範学校校舎は、その美しさから三条実美に鳳翔閣と名づけられました。

93 師範学校小学教授法 明治6 小林(茂)4514

明治初期の授業方法には、掛図が多く使われました。

94 学校生徒運動之図 小室6371-29

〈教科書・読物〉

95 西洋事情 福沢諭吉 明治6 中川3122

教科書にも使われた欧米紹介書です。

96 世界国尽 卷1 福沢諭吉 明治4 篠崎4449

97 学問ノススメ 福沢諭吉 明治6・7 中川2894~3903

はじめは17冊の小冊子で刊行されました。

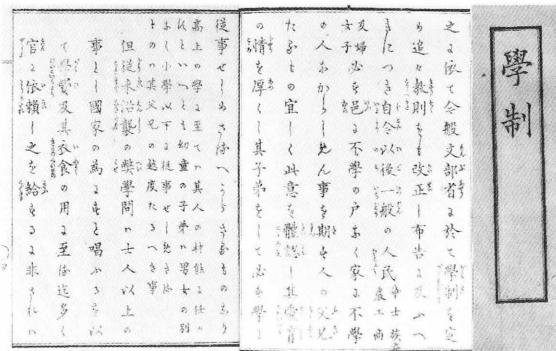
98 絵入啓蒙知恵の環 明治3 中川3010・3011

99 帝国読本 明治26 宇野2418・2424・2395・2604・2494

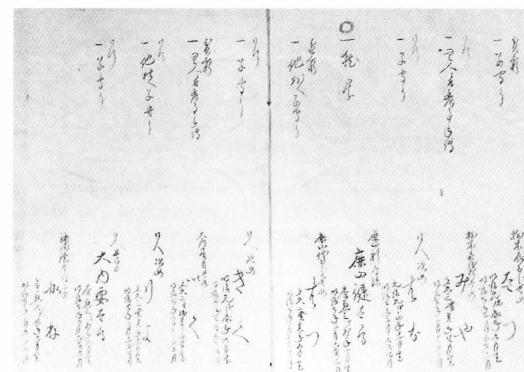
扉画に子供の風俗や博物館・動物園が描かれています。

100 おほかみ グリム 明治22 西角井9830

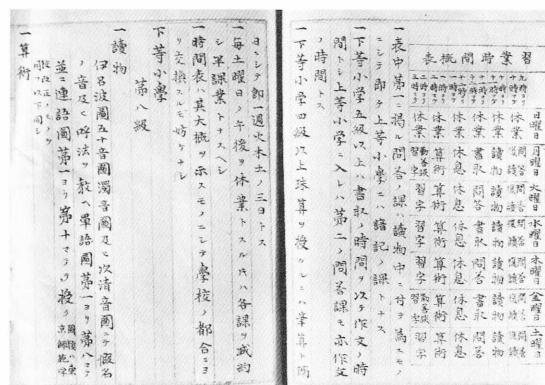
上田万年訳のグリム童話です。狼や山羊は和服を着ています。



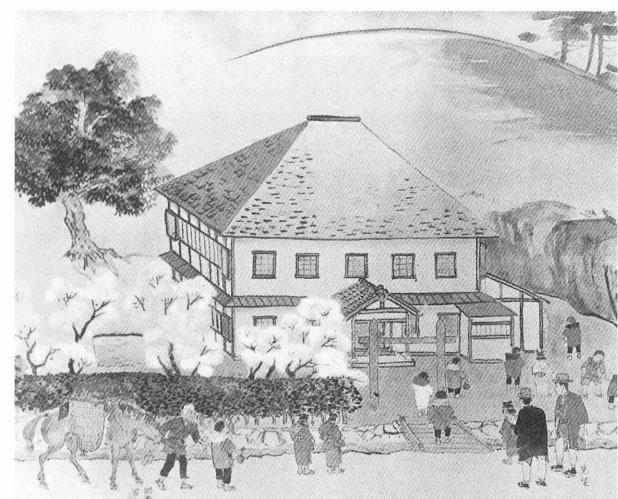
84



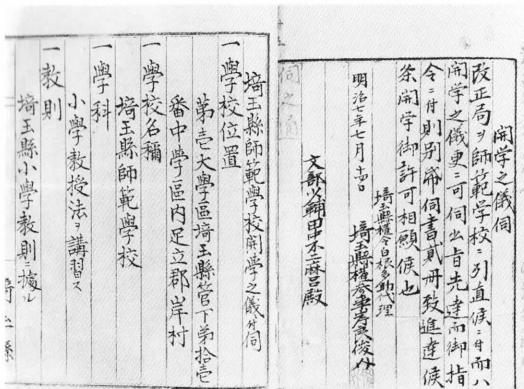
85



86



88



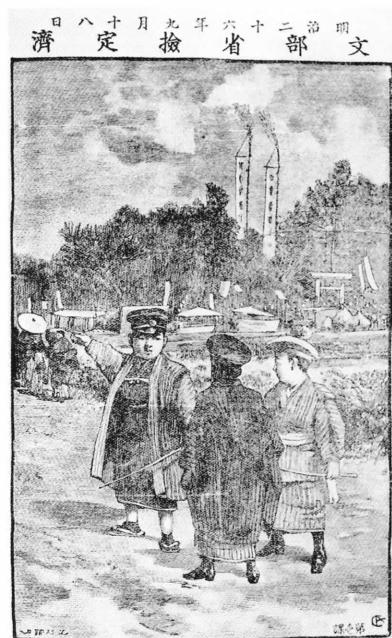
99



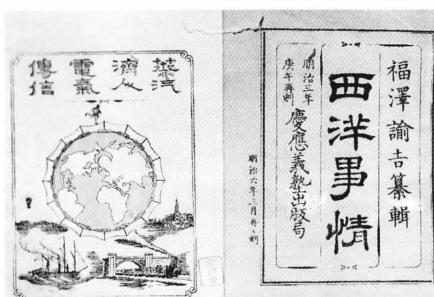
92



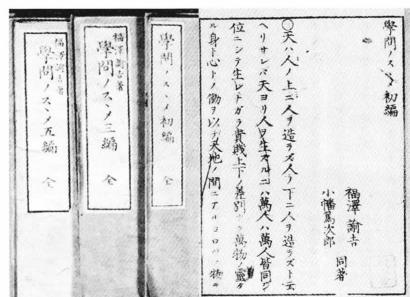
93



99



95



97

表紙：27 都の華 第65号 明治36 図書A070-ミ

日比谷公園前を散歩する女学生と母親。女学生は海老茶の袴に日傘をさしています。奥に見えるのはアーク燈です。

裏表紙：26 団扇絵見本（帽子・傘屋）埼玉県立浦和図書館蔵

团扇の注文見本帳の一枚で、帽子屋か傘屋用の図柄です。

利用案内 開館時間：午前9時～午後5時

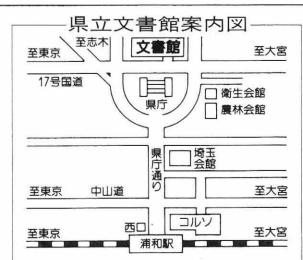
休館日：月曜日／国民の祝日・休日／毎月月末日／年末年始

特別整理期間（春秋10日間以内）

交通案内：JR京浜東北線・高崎線・宇都宮線：浦和駅西口下車徒歩12分

JR埼京線：中浦和駅下車徒歩15分

浦和駅より国際興行バス（北浦和駅行 大戸経由）：県庁裏下車



*SAITAMA
PREFECTURAL ARCHIVES*



収蔵文書展 文書にみる文明開化

発 行 1999年2月

編集発行 埼玉県立文書館

〒336-0011 浦和市高砂4-3-18

TEL 048-865-0112

FAX 048-839-0539

印 刷 (株)太陽美術